

1 市議会における意見

(政令指定都市調査特別委員会 (平成17年11月1日))

区名に関して最終決定権を審議会が持つということではなくて、決定権は住民が持つべきです。例えば市長を選ぶのに大勢立ってもらってそこから人を選んで、投票1位に決まった誰かをその人は市長にそぐわないから2番目の人を選ぶというようなことと同じことだと思えます。だから、ある程度足切りをしたら最終決定権は市民が持つようなシステムにはっきり方針を決めてほしいと思います。

なかなかどういう方向こういう方向というのは難しいことだと思えます、名前をつけるということは。やはり民意を尊重するという言葉が一番大切なのかなと思いますし、住民の意向を幅広く受け入れることができるような体制づくりを早期に設けて、それを審議会の中で十分議論していただいて答申につなげていただければというふうに思います。一定の基準を設けてやることはできますけど、すべての住民の声を反映させるというのは100%無理ですから、少しでもそれぞれの地域地域に合った要望をたくさん聞いていただいて、最終的な方向につなげるような手だてを講じていただければ幸いだというふうに思います。

大変難しいことなので言いにくいことも結構ありまして話しにくいんですけども、公募によって3つから5つくらいの案に絞っていただいて、その次に行われる意向調査によって、投票でも何でもいいんですが、そこで民意を聞くということで、基本的にそれを強く尊重するという立場の方がいいのではないかなと思います。

先ほど申しあげましたように、最終的な絞り込みをする前にぜひ当該行政区における住民、関係諸団体の意見、要望を拝聴してほしいと、その上で最終的に決定してほしいということを意見、要望しておきたいと思えます。

第一次の公募をして名前を市民から募って絞り込みをします。それをさらに意向調査をするということで、それをまた絞り込んで審議会が最終的に答申を出すということですね。そして、最終的には議会が議決をするという形になります。広く市民に公募してそれを区の名前にするというやり方は、私は基本的に賛成ですけども、そのプロセスの期間があまりにも短すぎるということで、団体や住民の意向が反映されるような時間的な保障をつくっていただきたいというふうに思います。

それから、現時点での人口は80万6,000人で8つの区をつくって名前をつけるということです。現時点ではそうなっておりますが、長い目で見ますと、例えば人口が膨張していくと、横浜などは新しい区をつくって、その新しい区をつくる際にはおおむねその地域の名前をつけていらっしゃるという事例もあります。これから人口が増えていくのか減少していくのかわかりませんが、そうなったときに区割りの問題も当然出てくるわけですから、現時点とそれから長期的なスパンで物事を考えていく必要があるだろうというふうに思います。難しいことであると思いますけども、将来的な展望や住民の意向について手間暇かかるかもわかりませんが、それらを反映できるような取り組みをしていただきたいなというふうに思っています。

以上です。

公募の段階では全市民が8区を対象にしているんですよね。これが絞られて今度は意向調査をやりますよね。意向調査は私からすれば同じ様な対象でやってもらいたくない。自分が住んでいる区にどういう名前をつけるかは、区の在住者に絞った投票にしてもらわないとならない。例えば私が住んでいないところの区名をつけるという、そんな話は考えられないんですよ、常識的に。無責任にもなるし、中身もわからない。そういう意味からすると、それを強く要望しておきたいと思います。